

ルネッサンススピーチ

8月6日全国少年練成大会（日本武道館）

窪田 和則

皆さん、おはようございます。

少し、お時間を頂きお話をさせていただきます。

さて、皆さんは柔道ルネッサンスという言葉をごどこかで聞いたことがありますか？

最近よく耳にする柔道ルネッサンスとは、柔道の創始者である嘉納治五郎先生が、柔道を始めたときの思いに立ち返り「柔道を志すもの全員が当たり前の事を当たり前にやろう、世の中のルールやマナーをしっかりと守ろう」という意味です。

活動内容は、大会等で使用した会場を、来たときよりも綺麗にしようというクリーンアップ活動です。皆さん、是非この日本武道館を朝来たとき以上に綺麗にして返すようにして下さい。

次に、挨拶を元気よく大きな声でするようにして下さい。

挨拶とは一番重要でとても大切なことです。自分の心を相手に伝えるというコミュニケーションの基本です。

次に礼法をきちんと行なってください。礼法とは相手に感謝、尊敬の念を伝えるという意味があります。形だけではなく、相手の目をみて心のこもった礼をするようにして下さい。この三つがしっかり出来ていれば周りから尊敬され、頼りにされる柔道家に全員がなれます。

是非、今日の試合から行ってください。

最後になりますが、ここに居る全員が輝かしい未来を手に入れてくれることを祈念し、スピーチを終わりたいと思います。

試合前の貴重な時間を頂きありがとうございました。

それでは試合頑張ってください。ご清聴ありがとうございました。